



台風19号により大量の土砂が堆積

橋桁の架設再開に向けた浚渫を急ピッチに展開中



台風通過直後状況
(2019.10.13早朝 殿町側より撮影)



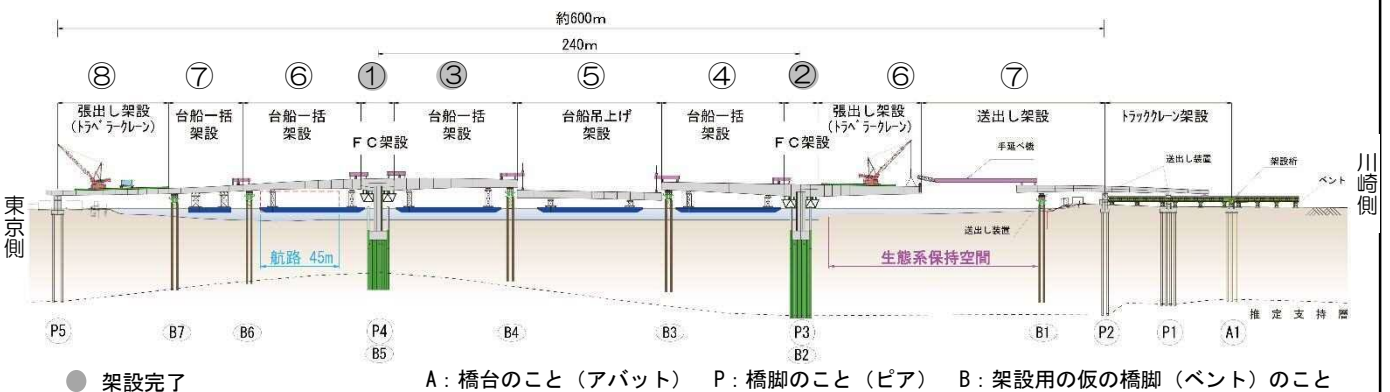
台風通過直後状況
(2019.10.13早朝 羽田空港側より撮影)



施工エリア浚渫状況



航路部浚渫状況



10月12日に上陸した台風19号（ハギビス）により多摩川河口部に土砂が流入し、浚渫した施工エリアおよび航路部に大量の土砂が堆積しました。

9月30日にP3-P4径間240mのうち、東京側の橋桁（③）の架設が完了し、続けて川崎側の橋桁（④）、中央の橋桁（⑤）の架設を行う予定でしたが、これにより、川の水深が浅くなってしまったため、作業船が現場に進入できない状態となりました。

そのため、早期の橋桁架設再開に向け、11月末から多数の船団を投入するなど、急ピッチで浚渫作業を実施しています。

【発注者：川崎市建設緑政局広域道路整備室羽田連絡道路建設担当 新西 一秀】

新年、あけましておめでとうございます。
平成29年10月に着工し、昨年ついに橋脚が完成して橋桁の架設が始まりました。度重なる台風の襲来により、河川内の工事が中断するなど、皆さまにはご心配をおかけしております。現在は早期の橋桁架設再開を目指し、浚渫作業を鋭意進めております。今後もダイナミックかつ様々な工法による工事が展開されますので、ご期待ください。

また、昨年に引き続き、「羽連だより」の寄稿や工事広報館のご案内、キングスカイフロントで行われるイベントの参加など、地域の皆さまに、工事についてのご理解を深めていただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



市職員一同

【受注者：五洋・日立造船・不動テトラ・横河・本間・高田共同企業体 管理技術者 山本 晃久】

設計の管理技術者を務めます山本です。日頃より（仮称）羽田連絡道路の建設工事にあたり、色々ご協力ありがとうございます。現地着工から約2年が経過し、9月30日に橋桁の台船架設の1回目を行い、続けて架設を行う予定でしたが、台風19号による施工エリアの土砂堆積により、現在架設工事を中断しています。昨年12月より殿町側のベント杭を施工し、今後送り出し架設を開始します。河川側の遊歩道が通行止めとなり、皆様にご迷惑をおかけしておりますが、今後も「安全第一」で作業を行ってまいりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。また、早期供用に向けてJV職員一同頑張っておりますので、本年もよろしくお願いいたします。



五洋JV 山本

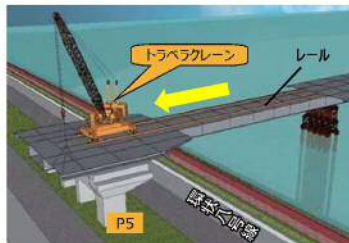
【土木豆知識⑧】 橋梁の架設工法② 張出し架設工法・送出し架設工法

多摩川の護岸付近は水深が浅いことや、川崎側は貴重な生態系保持空間が広がっていることから、台船一括架設工法の採用は困難です。そこで本橋では、張出し架設工法と送出し架設工法を採用しています。張出し架設工法としては、トラバークレーン（桁架設用の揚重機械）を使用する工法（TRC架設）を採用しています。羽田側のTRC架設は、架設した橋桁上にレールを敷いてトラバークレーンを設置し、順次橋桁のブロックを張出し架設していきます。一方川崎側は生態系保持空間にベントを設置できないことから、送出し架設工法を採用しています。送出し架設工法は、手延べ機と呼ばれる先行桁を先端に設置し、順次川崎側から橋桁を送り出して架設する方法です。

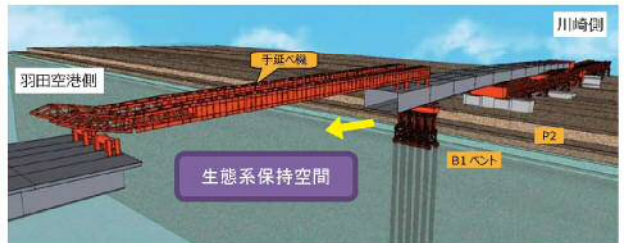
本工事では現地の条件に合わせていろいろな架設工法を採用しています。



トラバークレーン架設工法



トラバークレーン架設工法イメージ図



送出し架設工法イメージ図

【多摩川河口干潟の生き物⑧(ユリカモメ)】

干潟には、餌の小魚を狙ってカモメの仲間が多くやって来ます。中でも一際目立つ黒頭巾をかぶっているのがユリカモメ。これは“夏服”で、冬服は頬のあたりがうっすら黒く残る程度。殿町の干潟には、基本冬にやって来るので、“冬服”の方がよく見られます。ちなみに、平安時代の恋愛小説「伊勢物語」の一節に、「白き鳥の嘴と脚の赤き、しぎの大ききなる、水の上に遊びつつ魚を食ふ」とあり、嘴と脚の赤い白い鳥＝ユリカモメだと言われているので、恋とか愛とかユリカモメが干潟で餌をとる姿とかは、今も平安の頃も変わらない、ということなのかもしれませんが、これから先も、ずっと変わらずにいて欲しいものですね。

“夏服”
そう言えば、
昔前に渋谷辺りでも顔黒の扮装の女性を多数見かけたような…？



英名は
Black-headed Gull

“冬服”の立場は…

お問合せ先



川崎市建設緑政局広域道路整備室
羽田連絡道路建設担当

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-25

電話：044(200)0436

FAX：044(288)1782

http://www.city.kawasaki.jp/530/page/000

0097966.html



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・
本間・高田共同企業体（五洋JV）

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-24

電話：044(201)9381

FAX：044(201)9382

http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/